

中井 雄一郎（なかい ゆういちろう）

准教授

専門分野／会計、財務、会計監査、簿記

早稲田大学大学院法学研究科商法専攻（修士）、新日本監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）、Ernst Young LLP (London)、熊本学園大学会計大学院准教授を経て、令和3年より現職。公認会計士・税理士・公認不正検査士。
簿記学会正会員、監査研究学会正会員、内部監査学会正会員、日本観光学会正会員



著書：『完全比較 国際会計基準と日本基準（第一版）：投資不動産・従業員給付・株式報酬・売却目的で保有する非流動資産及び廃止事業』共著、中央経済社

ゲームのルールを知っておいた方が得ですよ ～求められるリテラシーについて～

英：literacyとは、「読解記述力」を意味していましたが、転じて現代では「(何らかのカタチで表現されたものを)適切に理解・解釈・分析し、改めて記述・表現する」という意味に使われるようになり、「識字率」というような意味合いで使われる言葉です。

金融リテラシー、情報リテラシー・ITリテラシー等、様々なところで、意味もよくわからないまま、言葉が使われている状況に、「何のこと？」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

あらゆるリテラシーを深く知っている方はいないので、知らないまま過ごすのも勿論問題ないですが、皆さんの生活に関係する「リテラシー」は把握していても損はないと思います。そこで耳慣れない「リテラシー」という言葉を「ルール」と置き換えてみたら、親近感が得られるのでしょうか？

例えば、皆さんが好きなゲームですとか、スポーツでもルールが存在しますよね。そして、ゲームやスポーツで勝つためにはルールを知っていた方が得なケースが多いですよ。コントローラーの操作方法やスポーツでの禁止事項等を知らないままでは決して、望む結果が出ないと思います。

世の中には色々な事象があり、そこにはルールがあります。勿論、ゲーム、スポーツのように「ルール」が公表されており、皆さんが把握したい時に容易にみる事が出来るものもありますが、他方で、取っ付き辛く、難解な言葉でルールが定められているものもあります。

私の担当する会計分野でも、会計リテラシー、転じて会計ルールは難しい単語が出てくる事から、当初は難解に感じるかもしれません。しかし、ちょっとした工夫と、繰り返し勉強する事で体に馴染むものです。お小遣いの管理をきっかけに、似ている部分のある会社のお金のルールと一緒に勉強していきましょう。